

第 18 回 G 7 下院議長会議 宣言 仮訳

我々、G 7 構成国議会の下院議長は、COVID-19 パンデミック及び気候危機には確固たる協調した国際的対応が必要であることを確認する。法律の採択、国家予算の承認並びに政府に説明責任を負わせることにより、議会は、我々の市民の福祉及び環境に対する国家のコミットメントにおける重要な要素となっている。国際社会のリーダーとして、我々は、子や孫、そして将来世代のために、健康的で清潔、かつ持続可能な環境を提供するために、緊急に行動することを約束する。

世界は COVID-19 により動揺している。2020 年 9 月 12 日現在、COVID-19 の確認感染者数は 2800 万人を超え、この病気は全世界で 90 万人を超える人命を奪っている。このパンデミックは、我々の市民の通常的生活を乱し、我々の最も脆弱なコミュニティ、そして女性及び子どもを含むリスクにさらされる人々を不均衡に傷つけ、さらに我々の経済を不安定化させている。我々は、ワクチン開発及びその公平な分配を含む COVID-19 への対応は、科学及び医学を基礎とし、利益よりも広いアクセスを重視するとともに、パンデミックが世界全体で対処されるまで継続するという認識によるものとなることを宣言する。G 7 諸国として、我々は、この世界的なコミットメントの旗手としての役割を果たす道徳的、科学的及び経済的な義務を有する。

残念なことに、各国政府がパンデミックに対処している間も気候危機は止まらない。COVID-19 パンデミックがもたらした緊急の危機に対処している間も、各国は気候非常事態を無視することはできない。健康危機及び気候危機の双方とも、前例のない政府の行動を必要としており、今後も必要とされるだろう。パンデミックによって引き起こされた経済危機から立ち直るための法整備を議会が行う中で、クリーンエネルギーその他の気候への投資は、短期及び長期の経済回復の原動力となり得る。

気候危機は、我々の時代における生存の危機であり、世界中のあらゆるコミュニティにおける全ての家族の健康と幸福を危険にさらすものである。2020 年における大気中の二酸化炭素濃度は、記録の残る中で最も高い平均の中に位置している。2019 年、地球は、史上二番目に暑い年に苦しんだ。地球が熱くなるにつれ、熱波、ハリケーン、森林火災、干ばつ及び洪水等の気候関連の諸影響は悪化しつつある。我々の世界の偉大な河川が干上がりつつあり、何百万人もの人から水、食料、雇用、運輸及び商業を奪っている。海洋環境の悪化も、昨年ブレストにおいて我々が言明したように、大きな懸念事項である。

我々は、経済的に脆弱かつ前線に立たされるコミュニティのための環境的公正にも、特に注意を払わなければならない。環境的不公正との戦いにコミットすることは、人種、肌の色、ジェンダー、性向、国の出自、信条又は社会経済的条件にかかわらず全ての人に対して、健全な環境、平等な機会、そして環境問題についての決定への意味ある関与を提供することを必要とする。気候政策は、構造的な不平等の永続化を終わらせることができる。

我々は、民主的生活における議会により果たされる中心的役割を再確認する。議会は、社会の全ての構成要素を集めるものであり、民主主義の鍵となる組織である。議会は、その立法及び監視の役割を通じて、人々の意見を代表する。我々は、パリ協定に従って気候危機に関する行動をとるように全ての当事者に呼びかける。

我々は、COVID-19 パンデミック及び気候に関する高いレベルの行動、これらの危機に関する諸問題の定期的な提起並びに優れた取組の共有を確保するため、議会間での意思疎通を維持することを約束する。我々は、COVID-19 への対応及び回復並びに全ての人にとっての経済的及び環境的公正を伴う形で気候危機に対処する戦いにおいて、我々の議会が重要な役割を果たさなければならないと確信する。